

マラウイ

マイクロウェーブ回線網整備事業



本事業にて整備されたデジタル交換機と通信塔

[借款概要]

承諾額/実行額	4,136百万円 / 4,136百万円
借款契約調印	1986年7月
借款契約条件	金利1.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1991年7月

[事業概要]

マラウイの増大する通信需要に対処するため、マイクロウェーブ施設の更新および一部新設を行うことにより、基幹通信システムの容量の拡大と信頼性の向上を図るもの。

[評価結果]

本事業は首都リロンゲを含む4大都市を結び、国全体の通信量の80%～90%を占める最も重要な回線の拡充を行うものであり、回線数は、事業実施前の約31千（1985年）から完成後には約71千（1999年）へと増加した。国際電話の通話完了率も24%（1985年）から40%（1999年）となり、国際通信の信頼性も大幅に改善した。

また、本事業の完成とともに携帯電話会社やインターネットサービス会社も増えつつあり、ITビジネスの発展にも貢献したと言える。

設備の維持管理については、スペアパーツ不足が指摘されているものの、実施機関であるマラウイ郵便通信公社の人材や財務状況の面で大きな問題はなく適切になされている。

なお、同国の通信セクターは、世銀及びアフリカ開発銀行の支援を受けた構造改革が進められており、その一環として、本事業の実施機関は政府の部局から郵政・通信部門別の公社として独立し、将来的な民営化も念頭に置いて効率化が図られている。